

## 平成27年度 帯広コア専門学校 学校関係者評価報告書

基準1 教育理念・目的・育成人材像等		自己評価	学校関係者評価
【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.5	適正であると評価する。
【1-2】	学校の特色は何か	3.4	
【1-3】	学校の将来構想を抱いているか	2.9	
創立30周年を迎え、理念・目的・育成人材像及び学校の特色について、共通理解が進み、それに即して十勝の総合学校としての教育が進められている。学校の将来構想は、社会環境の変化に対応した情報収集を行い、地域の要望・期待に応じて検討を加えている。			
基準2 学校運営		自己評価	学校関係者評価
【2-4】	運営方針は定められているか	3.1	学生数が減れば教員のモチベーションも下がる。広告の方法、発信の仕方に工夫が必要である。
【2-5】	事業計画は定められているか	2.8	
【2-6】	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	2.6	
【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	1.9	
【2-8】	意思決定システムは確立されているか	2.6	
【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.6	
学生不足による収入の悪化を主因とする賃金などでの処遇に対する不適切感が昨年度より増している状況が見られる。情報システム化等による業務の効率化に対する不満がコメントに見られ、より一層の改善が必要となっている。			
基準3 教育活動		自己評価	学校関係者評価
【3-10】	各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.3	大学3年へ編入学が可能なこと、放送大学と連携していることをパンフレットでもっと強調したほうがよい。卒業後も上を目指せる環境にしてあげることは重要である。社会人教育の一環であるビジネスデイのスーツ姿をパンフレット等で紹介してみてもどうか。
【3-11】	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	2.9	
【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.3	
【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3.2	
【3-14】	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3.3	
【3-15】	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.3	
【3-16】	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1	

【3-17】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.1	
【3-18】	資格取得の指導体制はあるか	3.5	
<p>教育活動については、入学段階での学力、教育到達レベルの判断が難しい学生に対する指導が指摘されており、今後の大きな課題となっている。教育活動の評価である授業評価は実施されているが、活用方法が不明確との指摘とともに、学生の多様化を考慮した方法が求められている。</p>			
基準4 教育成果		自己評価	学校関係者評価
【4-19】	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3.1	<p>退学の低減策として、入学直後に全学科宿泊研修を実施し学科を超えた交友関係づくりのきっかけづくりをしていることはいいことである。卒業生OBで活躍している人を探し、その人を広報する。</p>
【4-20】	資格取得率の向上が図られているか	3.2	
【4-21】	退学率の低減が図られているか	2.7	
【4-22】	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.9	
<p>学生の多様化に合わせた就職の選択、資格取得の選択が求められており、これらによって就職率や資格取得率が大きく変動する。進学先としての本校は、社会人育成を掲げているが、そのような意識が希薄な学生がおり、対応に苦しんでいる指摘が見られる。</p> <p>卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価については、紹介する場面が多くみられたが、より一層行うことによって、学校全体の評価を高めることにつながる。</p>			
基準5 学生支援		自己評価	学校関係者評価
【5-23】	就職に関する体制は整備されているか	3.4	<p>適正であると評価する。就職体制の整備、保護者との連携ができていることはよい。卒業生だけとは限らないが、社会人の学び直しのためのコースを準備をしてはどうか。</p>
【5-24】	学生相談に関する体制は整備されているか	3.1	
【5-25】	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.0	
【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.1	
【5-27】	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1	
【5-28】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2.6	
【5-29】	保護者と適切に連携しているか	3.3	
【5-30】	卒業生への支援体制はあるか	2.8	
<p>この項目に対しては、前年よりすべてにわたって評価が高くなっている。様々に学生を支援する体制は今後も充実を図ることが求められており、入学者増加への大きな要因と考えられる。</p>			
基準6 教育環境		自己評価	

【6-31】	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	2.4	適正であると評価する。
【6-32】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.4	
【6-33】	防災に対する体制は整備されているか	2.6	
30年を経過する中で、建物や設備の老朽化が見られる。また、使用している機器の中には、最新の機器との接続が困難なものもあり、計画的な更新を考える必要がある。近年の異常気象に対応するためにも、防災に対する連絡体制の構築を行うことが求められている。			
基準7 学生の募集と受け入れ		自己評価	学校関係者評価
【7-34】	学生募集活動は、適正に行われているか	3.4	「コア」の名前が目につくよう、記憶に残る広報が大事であり、宣伝媒体の工夫をしてほしい。 本校の学費が安い面、経済的にも地元のメリットについてのリーフレットを作成すると良い。 進路の決まっていない高校生の親へ募集を周知する工夫が必要。 学生向けアパートなどの紹介をしてあげると、募集範囲が広がる。 非常勤講師からの学校の評判が口コミされている。
【7-35】	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.2	
【7-36】	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.0	
【7-37】	学納金は妥当なものとなっているか	3.4	
学生募集の高校訪問については、校長と各教職員が分担して行っている。高校の進路担当者との連携が密になり、積極的な情報交換が可能になっており、学生募集に効果的である。  本校の地域で求められている立場から、適切な入学者選考となっているが、多様な人材の入学に対する指導体制の構築が必要となっている。			
基準8 財務		自己評価	学校関係者評価
【8-38】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.8	適正であると評価する。
【8-39】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.9	
【8-40】	財務について会計監査が適正に行われているか	3.4	
【8-41】	財務情報公開の体制整備はできているか	3.2	
本校は適切に財務処理が行われており、職業実践専門課程の認定を受けていることから財務情報を公開している。財務基盤の安定のためには、学生数の確保が重要になっている。			
基準9 法令等の遵守		自己評価	学校関係者評価
【9-42】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.3	個人情報の扱いは厳正にしなければならない。
【9-43】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.9	
【9-44】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改	3.1	

	善に努めているか	
【9-45】	自己点検・自己評価結果を公開しているか	3.3
<p>情報管理に関しては不十分な点もあり、対応が後手に回っているところもある。ホームページで、自己評価の公表や学校関係者評価の公表が行われている。</p>		
基準 10 社会貢献		自己評価
		学校関係者評価
【10-46】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	適正であると評価する。
【10-47】	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	
<p>可能な限り社会貢献に尽くしている。ボランティアの依頼が多くあり、ボランティアに臨みやすい環境にあるが、積極的に地域活動に関わることを学生に奨励している。</p>		

以上